

戸 田 市 教 育 委 員 会 会 議 録

招 集 期 日	平 成 2 8 年 6 月 2 3 日 (木)		
場 所	戸 田 市 役 所 教 育 委 員 室		
開 会	6 月 2 3 日 午 前 9 時 3 0 分		
閉 会	6 月 2 3 日 午 前 1 1 時 1 0 分		
教 育 長	戸 ヶ 崎 勤		
教 育 長 ・ 委 員 出 席 状 況	戸 ヶ 崎 勤	出 席	
	仙 波 憲 一	出 席	
	吉 田 辰 行	出 席	
	鈴 木 晃	出 席	
	土 肥 美 奈 子	出 席	
説 明 員	鈴木教育部長、渡部教育政策室長、栗津副参事、熊谷副参事、		
	星野学務課長、教育政策室 山根担当課長、細井学校給食課長、		
	津田生涯学習課長、教育総務課 諏訪村主幹、教育政策室 川和田主幹		
書 記	教育総務課総務担当 山本主任		
傍 聴 人	5 人		

会議の経過及び結果

教育長

作家などの命日を文学忌と呼び、有名なのは先日の6月19日の太宰治の桜桃忌ですが、芥川龍之介の河童忌、正岡子規の糸瓜忌などがあります。今日6月23日は国木田独歩の独歩忌となります。

文学ではありませんが、漫画「クレヨンしんちゃん」が発刊されて今年で25年となります。かつては母親たちから有害図書扱いされた時期もあります。最近では、今週21日付けで辞職した舛添要一東京都知事も「クレヨンしんちゃん」のファンでもあるらしいのですが、この漫画の購入も政治資金であったことが話題になりました。

しんちゃんの家である野原家の舞台が春日部市であることから、野原家は埼玉県子育て応援団特別団員となっておりますが、最近では、しんちゃんのいたずらに振り回される野原家こそ、理想の家族とする見方も出てきているようです。なかでも、家族を愛してやまない父親ひろしの言動が注目されています。2年前に、「野原ひろしの名言 クレヨンしんちゃんに学ぶ幸せの作り方」という本まで出版されました。

「押し付けることがしつけじゃねえんだ！ 自分からやらなきゃ意味がねえんだよ！」「自分の子どもに『くたばれ』って言う親がどこにいる？ 親は子どもに『生き抜け』って言うもんだろうが一っ！」

今月、北海道北斗市の小学2年生の男の子が、父親のしつけのために山中に置き去りにされ6日後に無事発見されたというニュースは世界中で報道されました。謝る父親に男の子は「お父さん優しいから許すよ」と応えたそうです。

国内ではしつけのあり方について、父親のとった行動に賛否両論ありました。有名な脳科学者は、「しつけという言葉を使う人も嫌いです」とまで述べていました。また、海外メディアでは、ほとんどが、しつけとしてではなく、罰として「leaving a child alone（置き去りにした）」と報じていたようです。

	<p>「躰」つまり「身を美しく」という漢字の意味について、広辞苑には「礼儀作法を身につけること。また身についた礼儀作法」とあります。しつけについての解釈ひとつをとっても教育の難しさを感じました。</p>
教育長	<p>それでは、ただ今から、平成28年第7回戸田市教育委員会定例会を開会いたします。</p> <p>初めに、前回の会議録の承認ですが、事前に会議録の内容を見ていただいておりますので、御異議がないようでしたら承認ということによろしいでしょうか。</p>
各委員	了承
教育長	それでは、会議録に御署名をお願いします。
各委員	署名
教育長	<p>次に、秘密会となる案件につきましてお諮りいたします。</p> <p>「報告第2号 戸田市社会教育委員の委嘱について」、「報告第3号 戸田市公民館運営審議会委員の委嘱について」については、人事案件となりますので、秘密会で行うこととしてよろしいかお諮りいたします。</p>
各委員	異議なし
教育長	それでは「報告第2号及び報告第3号」は、秘密会とすることに決定いたしました。
教育長	<p>はじめに、「教育委員提案について」御報告いたします。先月の教育委員会にて委員より御質問のあった件について報告がございます。</p> <p>① 教員研修について</p> <p>② 教育委員研修について</p> <p>③ 学校のマネジメント力について</p> <p>詳細につきまして、各所属長より報告いたします。</p>

事務局

①教員研修について報告します。

学校教育に求められるものが多様化・高度化していることに伴い、教師に求められる資質能力も変化し、高度化しております。そのため、教師力を総合的に向上させるためには、ライフステージに応じた、適時適切な研修が必要となります。

そこで、文部科学省委託事業である「総合的な教師力向上のための調査研究事業」を通し、民間教育事業者と連携して、他の自治体にはない先進的な教員研修を実施することとしております。具体的には、夏季休業中を中心に、ICTを活用した新しい学びを促す研修や、21世紀型スキルを育むための授業改善研修などを実施いたします。

まず、資料1ページを御覧ください。インテル及びキャリアリンクに委託して実施するインテルティーチプログラムを活用した教職員等課題解決型研修です。インテルティーチプログラムとは、探究型学習を実現するための学習指導法を学ぶことができる教員研修プログラムです。

2種の研修コースを実施いたします。Aコースは、ベテラン、中堅教員を対象とした「戸田市MT養成研修」です。小中学校から1校1名を対象に1日通して実施します。

Bコースは、戸田市に異動してきた中堅教員対象の「異動者研修」、若手を対象とした「初任者研修」や「臨時的任用教員研修」を半日で実施します。

特にMT養成研修では、オンラインを通じた事前の課題研修、事後のモデル校における授業実践公開・研究協議も含めて、21世紀型スキル育成のための授業改善を進めるリーダー役となることを期待して、研修を実施し、市全体としての指導力向上を目指すものです。

次に、ベネッセコーポレーションに委託する「教職員等専門研修」について、いくつか代表的なものを説明いたします。資料3ページを御覧ください。

まず、新しい学びを促すICTシステム（ミライシード）の活用を図る授業改善研修です。単なる操作演習ではなく、アクティブ・ラーニングの実践に求められるもの、国語、社会、算数・数学、理科の4教科別におけるアクティブ・ラーニングの実践に求められるものほどのようなものを研修します。9月から全校展開する無線LAN環境、タブレット、そして新しい学びを促すICTシステムが連動して活用できるように進めてまいります。

次に、資料4ページを御覧ください。情報教育主任、英語推進委員対象とした、授業動画入力研修です。授業改善に生かされる動画とはどのようなものかについて検討します。また授業動画共有ツールClassiの動画アップロード操作演習、授業改善に求められる授業動画の検討、著作権、肖像権についての理解とトラブル回避、撮影のポイントなどの研修を実施します。

今後、情報教育主任や英語推進委員を中心に授業動画をClassiにアップし、市内教員がそれらの動画を見ることで、授業の参考となるよう、また教材研究時間の短縮が図れるようにしていきます。

最後に、資料5ページを御覧ください。小学校教員を対象とした英語活動及び中学校の英語担当教員を対象とした指導法研修会です。

昨年度に引き続き、元青山学院大学教授で英語学・音響音声学の第一人者である村川久子先生に講師をお願いし、会場は青山学院大学のCALL教室をお借りして、英語指導力を高める研修を実施します。また、夏休み以降は、地区別授業研究会を中学校区ごとに実施し、小中学校間の英語を通じた研究協議を実施していきます。

このように教員の英語指導力を高め、小中9年間の英語教育を通して児童生徒の「主体的に関わる力」「気持ちや考えを英語で伝え合う力」「豊かな国際性」を育ててまいります。

教育長

何か御質問等がありましたら伺います。

委 員	<p>I C Tが新しい学びを促すとありますが、I C Tを活用することで授業の内容がどのように深まっていくのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>アクティブ・ラーニングは、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」が柱となっています。I C Tは共有・交流のツールとして活用します。友達の意見を聞き、考え、それを発信し、また共有するということを繰り返すことで知識が深まると考えています。</p> <p>I C Tはあくまでも鉛筆や消しゴム同様のツールであり、とだっ子が自然に、意識することなく使えるようになることがねらいです。</p>
委 員	<p>先日P T Aの集まりで、ある保護者の方が「I C T活用というが、全て機械任せにしていいのか」というようなことをお話しされていました。I C T活用を周知する際に、先生が授業の中でどのように関わることがわからないからこのようなイメージが生まれてしまうのだと思います。</p>
事 務 局	<p>教員も研修をとおし、アクティブ・ラーナーとしてI C Tを使いこなし、授業で活用していくことと、その旨をこれまで以上に保護者にもわかりやすく伝えていきたいと思います。</p>
委 員	<p>M T研修は対象者が各学校1人ずつとなっていますが、全員に受けてほしいと思います。それはできないのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>民間事業者との連携の関係で今年度は各学校1人ずつとなっています。M T研修受講者は、その結果を各学校に持ち帰り、メンター研修を行い、各学校の教員に伝えていきます。</p>
教 育 長	<p>それでは、他に質問等がないようですので、次に「教育委員提案② 教育委員研修について」を事務局より説明願います。</p>
事 務 局	<p>②教育委員研修について報告します。</p> <p>本市では、小学校に国語・書写・社会・算数・理科、中学校に国語・書写・社会・数学・理科・英語の指導用デジタル教科書を導入しております。指導用デジタル教科書を授業で活用することで、児童生徒の興味・</p>

関心を高め、理解が深まり、充実した授業展開を行うことができます。
また、教員にとっても、教材研究や準備の時間が大幅に削減され、業務負担軽減にもつながるものと考えております。

(実際に教室で活用しているデジタル教科書の実演)

それでは、デジタル教科書の活用方法を説明いたします。画面を御覧ください。まず、デジタル教科書のよいところのひとつ「大きく見せる」ことを行います。

デジタル教科書では、児童生徒に見せたいところだけ大きく見せることができます。大きく見せることで、資料の細かいところまで気付くことができます。また、動画や、関連する写真、音声など、紙の教科書だけでは伝わらない資料がデジタル教科書には収録されています。社会では教科書に掲載されているインタビューの映像などを動画で見ることができ、実感の伴った学びにつながります。

次に、デジタル教科書のよいところの2つ目、「書く・かくす・動かす」ことを行います。

大事なところに線を引く、「見せる」だけでなく、「かくす」ことで児童生徒の思考が深まります。算数・数学では、教科書の図形を切ったり、動かしたり、グラフを自由に動かしたりすることができるので、児童の思考を促す重要な手立てとなります。

デジタル教科書のよいところの3つ目、「オリジナルの教材をつくる」ことを行います。

教科書の本文や挿絵を自由に組み合わせて、オリジナルの教材をつくることができます。印刷もできるので、掲示用の資料を作成したり、ワークシートを作成したりすることができます。

このように、指導用デジタル教科書を教員が意図的・計画的に一層活用することで、児童生徒の学びの充実、教員の業務負担軽減につながっていくものと考えます。それでは、実際に教育委員の皆様も体験してく

	<p>ださい。(教育委員各々のタブレットPCでデジタル教科書の操作体験)</p>
教 育 長	<p>何か御質問等がありましたら伺います。</p>
委 員	<p>体験してみて、これならば子供たちが楽しく授業に参加できると思いますが、やはり教員にはこのコンテンツをいかに活用するかという研修が必要だと思えます。</p> <p>また、オリジナル教材を作ることができるということでしたが、戸田市の歴史など、戸田市に密着したコンテンツを作って活用できれば更によいと思えます。</p>
教 育 長	<p>今体験していただいたのは指導用のデジタル教科書です。現在、児童生徒用のデジタル教科書の開発も進められております。今年の2学期から本市では先導的に大学、国の関係者と児童生徒用のデジタル教科書の研究を進めていく予定でおります。</p>
教 育 長	<p>それでは、他に質問等がないようですので、次に「教育委員提案③ 学校のマネジメント力について」を事務局より説明願います。</p>
事 務 局	<p>③学校のマネジメント力について報告します。</p> <p>前回仙波委員から御提案いただいた「チームとしての学校のマネジメント力」について、本日はこの件に関連する事業である、今年度受託した文部科学省委託事業「チーム学校の実現に向けた業務改善等の推進事業」の取組について御説明いたします。資料6ページを御覧ください。</p> <p>本事業は、中央教育審議会から昨年12月21日に出された「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」の答申を受けて実施する事業です。この答申において、「チームとしての学校」が求められる背景として、学校現場を取り巻く課題の複雑化や多様化による「日本の教員の勤務時間の長さ」があげられております。2013年実施のOECD国際教員指導環境調査、いわゆるTALIS調査の結果、参加34カ国の中で日本の教員の勤務時間は最長でありました。背景にあるのは、教員が、授業や生徒指導、部活動という子供達に向き合う時間の他に、</p>

授業の準備や会議、研修、さらには、保護者や地域など学校に対する様々なニーズに対応していることがあります。

このような背景の中、「チームとしての学校」を実現するためには、次の3つの視点に沿って学校のマネジメントモデルの転換を図っていくことが示されております。1つ目は「専門性に基づくチーム体制の構築」、2つ目は「学校のマネジメント機能の強化」、そして、「教員一人一人が力を発揮できる環境の整備」の3点です。

以上のことを踏まえ事務局で検討したところ、市内の各学校がマネジメント力を発揮し、「チーム学校」として機能するためには、教員の負担軽減や業務改善が不可欠であるという結論に達し、事業計画を文部科学省に提出したところ、受託決定の運びとなりました。

改めて教育委員提案資料6ページを御覧ください。

本事業の目的ですが、先程申し上げましたとおり、現在、学校が多くの役割を担うことが求められ、際限のない業務状況になっている中、市内小・中学校における業務の3K（可視化・共有化・効率化）を行い、教員の負担軽減を図ることで、教員の子供と向き合う時間の確保や、必要な教育活動の充実を行うことです。

資料中央にありますように、研究母体となる「戸田市チーム学校運営委員会」を立ち上げ、事業を推進してまいります。また、実務的な部分については、可視化WG、共有化WG、効率化WGの3KWGで研究を進めてまいります。

各ワーキンググループの概要を申し上げますと、可視化WGでは、各学校に届く調査文書、また各事業所から依頼される児童生徒コンクール数等を可視化し、削減できるよう検討してまいります。可視化については、現場の負担にならないよう教育委員会で準備する人材が作業をいたします。

共有化WGでは、ワークシートや指導案などの教材資料、校務に関わ

	<p>る文書を共有化し、ICTシステムにより先生方が活用しやすい方法について検討してまいります。また、校務システムであるC4thの契約期限が迫っておりますので、新システム導入の検討も進めてまいります。</p> <p>効率化WGについては、簡易なシステムの導入により在校時間の調査をすることで、在校時間の長い先生方の状況を分析し、校務の効率化を検討してまいります。委員会やWGのメンバーについては、事務局職員の他に校長先生、教頭先生にも委員としてお入りいただいております。</p> <p>本事業を通して、業務改善の在り方を各学校にお示し、教員の子供と向き合う時間の確保や、必要な教育活動の充実を行ってまいりたいと考えております。</p>
教育長	何か御質問等がありましたら伺います。
教育長	ここでいう「3K」とは、戸田市オリジナルのものです。このような視点から研究を行っている自治体は戸田市のみです。国はこの委託事業にどのような期待をしていますか。
事務局	<p>現場の負担軽減が大きな課題となっているのは御案内のとおりです。先週も教員が子供たちと向き合う時間を確保し、誇りとやりがいを持てる環境を確保するため、文部科学省内に堂故文部科学大臣政務官を座長とする「次世代の学校指導体制にふさわしい教職員の在り方と業務改善のためのタスクフォース」を設置し、報告が取りまとめられた旨の通知がありました。</p> <p>その報告の中では、部活動の負担を大胆に軽減する等の提言もありましたので、それらの提言を踏まえ、戸田市の実態に合わせた業務負担の軽減とは何なのか、現場の先生にも意見を聞いたうえで取りまとめていきたいと考えております。</p>
教育長	戸田市の研究成果が国をも動かすことになるかもしれないのですか。
事務局	そのとおりです。
教育長	それぞれのワーキンググループが負担軽減や業務改善に向けて大胆に

	<p>メスを入れていくとのことで、国や他の自治体からも注目されています。責任を持って取り組んでいきたいと思っています。</p>
委員	<p>I C Tの活用がまさに3 Kにつながると思いますので、教員も教育委員会も積極的にI C Tを活用していただけたらよいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>御提言を踏まえ、取り組んでまいります。</p>
委員	<p>「可視化」の具体例を教えてください。</p>
事務局	<p>学校には文書收受簿があり、それをチェックすることで、どのようなものがいつどれくらいの量で来たのか把握することができます。その中に不要なものがないか、果たして学校がやるべきものなのか、ひとつひとつ確認し精査します。その結果、負担軽減につながると考えています。</p>
委員	<p>そうすると文科省からの文書にも不要なものがあるかもしれないということですか。</p>
事務局	<p>文科省が毎年行っている調査もありますので、果たしてそれが毎年調査をする必要があるのか検討し、毎年の調査が不要であると判断した場合には、その旨を提言することもあり得ると思います。</p>
教育長	<p>学校あての文書が多いとよく言われていますが、どれくらいの量なのかこれまで把握されていませんでした。この際、学校の実態をオープンにして目に見えるようにしようというのが「可視化」です。</p> <p>極端な話、文書收受をしない学校があってもよいのではないかと、という意見も出ています。まだアイディアの段階ですが、各ワーキンググループでこれまで実施されなかった大胆な方策を検討していきたいと考えています。</p>
委員	<p>大変期待しています。</p>
教育長	<p>続きまして、「報告事項」について申し上げます。本日は「その他」を含めまして6件の報告がございます。</p>

	<p>① 平成28年第3回戸田市議会定例会（6月）教育関連一般質問 件名・概要について</p> <p>② 平成28年度における教科書展示会の開催について</p> <p>③ 人権講演会の開催について</p> <p>④ 「子ども大学とだ」の開催について</p> <p>⑤ 家庭教育宣言について</p> <p>⑥ 第32回特別展の開催について</p> <p>⑦ その他</p> <p>詳細につきまして、各所属長より報告いたします。なお、御質問につきましては、すべての報告が終了したのちに伺います。</p>
<p>事務局</p>	<p>①平成28年第3回戸田市議会定例会（6月）教育関連一般質問 件名・概要について報告します。</p> <p>資料の1ページから10ページまでを御覧ください。先週行われました戸田市議会定例会の教育関連一般質問では、8名の議員から教育関連の質問がありました。詳細につきましては資料のとおりですが、いくつか報告します。</p> <p>まず、遠藤議員からは、件名として戸田市の教育振興について、1つ目、これからの激しく変化していく社会の中で今後、子供たちにつけていかなければならない能力をどう考えるか、2つ目、戸田市の教育改革における具体的なプランについての質問がありました。</p> <p>資料のとおり、教育長から「戸田市の教育に関する大綱」や「第3次戸田市教育振興計画」に基づき回答を行い、また、具体的なプランについては、3つの柱である「新しい学びの創造」、「指導力のある教職員の育成」「新たな教育行政への転換」について説明いたしました。</p> <p>次の山崎議員からは、件名として戸田市の教育について、1つ目、児童生徒数の今後の予想について、2つ目、通学区及び通学路の整備につ</p>

いて、3つ目、小中一貫教育についての質問がありました。

前回の定例教育委員会で協議し、承認をいただきました戸田東小学校・中学校の建て替えに伴う設計業務委託、債務負担行為の補正予算の提出を受けた質問であり、資料のとおり回答いたしました。

今後は、この補正予算が市議会で議決いただきましたら、およそ5年後の小中一貫校の開校に向け、本教育委員会はもとより、文教建設常任委員会の委員の皆様をはじめとする市議会、戸田東小・中学校、喜沢小学校の学校関係者、保護者、地域の皆様には丁寧に説明し、進めてまいりたいと考えております。

次に、三浦議員からは、件名として主権者教育と投票率アップについて、主権者教育の現状と課題及び方向性についての質問がありました。

現在の小中学校の授業での指導内容等について回答いたしました。

次に、花井議員からは、件名として子供の貧困対策事業について、社会的自立までの対策と関係各課の連携強化についての質問がありました。

今後、教育委員会としましては、学校との連携という観点も含め、必要な協力をすると回答いたしました。

次に三輪議員からは、件名として通学路の安全点検について、1つ目、通学路の安全点検について、2つ目、通学路等における緊急時の安全確保についての質問がありました。

昨年発生しました、笹目東小学校の交通事故を受けての質問であり、通学路の検討や交通指導員配置の検討等につきまして回答いたしました。また、緊急な災害につきましても、定期的な訓練やマニュアルに基づき対応していると回答いたしました。

次に金野議員からは、件名として人口について、1つ目、小中学校の児童生徒の推移について、2つ目、学区割についての質問がありました。

	<p>1つ目は山崎議員とほぼ同様の回答をし、2つ目の学区割については、通学区は、基本的には、安易に通学区を変更することはせず、分離新設校や統廃合をする学校が生じた場合、また急激な児童生徒数の増加があり、緊急な対策では追いつかない場合、様々な視点から総合的に判断していくと回答いたしました。</p> <p>次に竹内議員からは、件名として防犯対策、子供や女性の犯罪被害防止について、学校における防犯教育の現状についての質問がありました。</p> <p>およそ2年前に発生した朝霞市の女子生徒誘拐事件や市内で発生している不審者事案を受けての質問でした。学校では安全計画に基づき、様々な防犯教育を実施しており、また、保護者・地域の方々との連携等について回答し、自分の身は自分で守ることの大切さについて説明いたしました。</p> <p>最後の酒井議員からは、件名として教育効果の評価について、学習方法の評価と取捨選択のプロセス、県学習調査の詳細と位置づけについての質問がありました。</p> <p>調査結果や教員質問紙の結果等を大学機関や国と連携しながら検証し、検証結果を授業改善等に生かしていくと回答いたしました。</p>
事務局	<p>②平成28年度における教科書展示会の開催について報告します。</p> <p>教科書の発行に関する臨時措置法第5条により、各都道府県教育委員会は教科書展示会を行い、その開催時期や場所等を広く周知することになっております。</p> <p>そのため、資料12ページのとおり、6月17日（金）から6月30日（木）の14日間、教育センターで展示会を開いております。県が公開している展示会場一覧は、資料13ページのとおりです。なお、今年度、教科書採択はございません。来年度は道徳の教科書の採択の年になっております。</p>
事務局	<p>③人権講演会の開催について報告します。</p>

	<p>人権講演会を7月7日（木）午前10時30分から正午まで新曽福祉センターホールで開催いたします。</p> <p>「ネットいじめからわが子を守るために～子どもが相談したくなる親になるために～」と題し、カウンセラーの瀬川文子先生に御講演いただきます。瀬川先生は、子どもたちのネットの使用状況や被害の実態を知らない大人も多く、ネット被害の現状を伝え、どうしたらネット被害に遭わないようになるか、御本人の経験を生かして講演活動をされています。現在、各小中学校PTAに参加を呼び掛けております。</p>
事務局	<p>④「子ども大学とだ」の開催について報告します。</p> <p>子ども大学は、地域の大学や市町村、企業・NPO、埼玉県が連携して、子供の知的好奇心を刺激する学びの機会を提供することを目的としています。</p> <p>平成26年度から教育長を学長とし、小学生にとって日頃の授業では体験できない学習内容を4回の講座として実施しています。昨年度から青山学院大学に御協力いただいておりますが、今年度は、青山学院大学教授である仙波委員に御講義いただくなど、さらに充実した内容となります。</p> <p>開催については、6月15日号の広報戸田市で案内しております。対象児童は小学校4～6年生で、募集人数は30名としております。</p>
事務局	<p>⑤家庭教育宣言について報告します。</p> <p>去る6月2日、戸田市公立学校PTA連合会総会において「家庭教育宣言」が承認されました。これは、家庭での教育の重要性について、PTA自らが宣言したものです。学校教育とは別に、各家庭に向けPTAが自ら呼びかける事例は、県内でも珍しい取組です。今後、この宣言が各家庭に浸透し、家庭教育と学校教育とが車の両輪のように機能し、子供たちの健全な成長につながるものと期待しているところです。</p>
事務局	<p>⑥第32回特別展の開催について報告します。</p>

	<p>「埴輪が語る戸田市の古墳時代」と題する第32回特別展は、古墳時代の人々の暮らし、各地との交流について、市内出土埴輪の流通、埴輪の表現などから考察することを目的に開催するものです。</p> <p>開催期間は、平成28年7月16日（土）から8月28日（日）までの41日間とします。展示会場は、戸田市立郷土博物館3階特別展示室であり、入場無料です。</p> <p>関連事業として、「南原古墳群出土埴輪と戸田市の古墳時代」（仮）と題する記念講演と子供向け講座を予定しております。その他企画展開催に係る事項につきましては、資料記載のとおりです。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>次に⑦その他ですが、事務局より何かございますか。</p>
<p>事 務 局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報戸田市5月1日号の教育特集について（教育総務課） <p>平成28年5月1日号の広報戸田市で、産官学民と連携した先進的な教育を推進するなど、戸田市の教育が大きく変わることについて、市民の皆様にお知らせしたことについては既に御報告しておりますが、去る6月2日付けの教育新聞にこのことが記事として取り上げられましたので報告します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英検3級受検補助事業について（教育政策室） <p>去る6月10日（金）にすでに英検3級以上を取得済みの生徒、3級1次試験免除のため受検しなかった生徒、部活動で陸上大会に参加した生徒を除く戸田市立中学校3年生（877人）が、英語検定3級を受検しました。受検までに各学校では、英検3級対策問題を取り扱った学習を行ったり、中学校アクティブティーチャーによる放課後等の学習を行ったりして対策をしてまいりました。</p> <p>教育委員会では、去る5月29日（日）と6月5日（日）に英語検定3級直前対策講座を実施し、参加者は両日合わせて、約70人でした。英検対策として県内の老舗英語塾サイエイ・インターナショナルから2年連続授業コンテストで優勝した英検対策のスペシャリストを講師で招</p>

き、両日約3時間の対策講座を実施しました。

文部科学省は平成29年度までに中学校卒業段階で英語検定3級程度50%を目指しておりますが、戸田市は英検3級取得者を今年度50%、平成33年度までに100%を目指します。

1次試験の結果が6月24日以降、遅くとも7月4日までにわかりますが、それまでの間も、7月10日実施の2次試験に向け、ALTを活用した個人面接練習やスピーキング練習に取り組み、たくさんの生徒が合格できるように支援してまいります。なお、結果につきましては、後日報告いたします。

・リーディング・スキルについて（教育政策室）

本市が研究協力を行っている、国立情報学研究所教授の新井紀子先生の児童生徒のリーディング・スキルについて報告します。

新井先生は、最近ではテレビ、雑誌など多くのメディアで紹介されております。「ロボットは東大に入れるか」というプロジェクトを行っており、「東ロボくん」という人工知能（AI）の研究や開発を進められています。

新井先生がAIの研究に関連して研究している児童生徒のリーディング・スキルについては、児童生徒が教科書の文章の意味をきちんと読み取れているかを測定する、読解力の基礎に関する研究で、現在、国や多くの研究機関、また、教科書会社等でも大変注目している研究です。

今のAIには文章の意味を理解することが出来ない、つまり、リーディング・スキルがないということです。一方で、中学校や高等学校でリーディング・スキルに関する調査をしたところ、実は多くの生徒が教科書の文章をしっかりと読めていないという結果が出ています。このままでは、人間よりもAIの方が、コストがかからない上に正確であることから、新井先生は、人間らしい力をもってAIと共存して働き、生きるためには、まずは教科書をきちんと読める子を育てることが必要だと提唱

	<p>されています。</p> <p>本市としては、昨年に引き続き国立情報学研究所特任助教の藤田彬先生らの指導のもと、戸田市立教育センター研究員が調査問題の作成に協力してまいります。昨年度に作問に参加したセンター研究員からは、教科書の問題を改めて見直すことになり、日頃行いたくても行えない有意義な研修だったという感想が多くありました。作問の取組そのものが、リーディング・スキルについて理解する機会となり、教科書分析を行う教員研修の一貫となっております。</p> <p>また、昨年度は一部抽出して調査を実施しておりましたが、本市の生徒の特徴として、県立中学校などの生徒に比べると正答率は低かったわけですが、問題を考えている時間は長いということがわかりました。このことから、国立情報学研究所の先生からは、粘り強さ、やり抜く力といった非認知能力が育っていることが読み取れることから、今後に可能性を感じる結果であるという評価もいただいております。</p> <p>今後についてでございますが、今年度は、市内の児童生徒の状況を把握するため、テストの実施範囲を拡大し、市内中学校全学年全学級（91学級、約3,300名）と小学校6学年の全学級（37学級、約1,200名）の児童生徒を対象に調査を行うことを検討しております。調査自体が教員研修の一貫となることもねらいとしておりますし、また、小6と中1の結果を比較し考察することで、中1ギャップ解消のヒントを得られる可能性もあると考えております。テスト結果については、研究所と協力しつつ分析を進め、追って報告いたします。</p>
教 育 長	<p>以上で、「報告事項」が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。</p>
教 育 長	<p>それでは、特に質問等がないようですので、次に議事に入ります。「議案第23号 戸田市立少年自然の家条例施行規則の一部を改正する規則（案）について」を事務局より説明願います。</p>
事 務 局	<p>学校教育法の改正に伴い、戸田市立少年自然の家条例を改正したこと</p>

	による施行規則の一部改正です。資料6ページの新旧対照表のとおり、第10条中、義務教育学校を含めての「小・中学校」へ改正するものです。その他、字句の整理を行うものです。
教育長	以上で説明が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。
教育長	それでは、質問等がないようですので、打ち切ります。議案第23号は、提案内容のとおり議決することに御異議ございませんか。
委員	異議なし
教育長	異議なしと認め、議案第23号は提案内容のとおり議決いたします。
教育長	次に、「議案第24号 戸田市立図書館戸田公園駅前配本所の利用時間の変更について（案）」を事務局より説明願います。
事務局	<p>毎年開催される戸田橋花火大会当日は、戸田公園駅周辺が正午以降大変混雑することから、戸田公園駅前行政センター利用者の安全確保のため当該センターの開所時間変更に伴い、2階部分に位置する配本所も同じ扱いとするものです。</p> <p>内容としては、資料7ページのとおり、通常の土曜・日曜の開所時間が午前9時から午後5時30分までであるところを、平成28年8月6日（土）に関しては午前9時から正午までとするものです。なお、花火大会が雨天等で翌日7日（日）に順延された場合も同様とするものです。</p>
教育長	以上で説明が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。
教育長	それでは、質問等がないようですので、打ち切ります。議案第24号は、提案内容のとおり議決することに御異議ございませんか。
委員	異議なし
教育長	異議なしと認め、議案第24号は提案内容のとおり議決いたします。
教育長	次に、次第の6その他の「次回の教育委員会の日程（案）」について、事務局より説明願います。

事務局	次回、教育委員会定例会の日程ですが、7月28日（木）午前9時30分からの開催について、お伺いいたします。
教育長	それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおりでよろしいでしょうか。
各委員	了承
教育長	それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおり決定いたします。次に、その他ですが、事務局から何かございますか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫校の建設について（教育総務課） <p>先月の教育委員会で議決をいただきました、戸田東小学校・戸田東中学校の改築等工事設計業務委託料の補正予算について、6月18日付けの埼玉新聞に関連記事が掲載されましたので報告します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育長インタビュー記事の掲載について（教育総務課） <p>日本教育新聞では、「人づくり 国づくり」と題し、全国の教育長のインタビュー記事を掲載しています。このたび、6月20日付けの日本教育新聞に戸ヶ崎教育長のインタビュー記事が掲載されましたので報告します。</p>
教育長	来月の教育委員提案のテーマについて委員から何かございますか。
委員	給食費の滞納がある学校があると伺ったのですが、現状と今後の対策について聞かせてください。
事務局	承知いたしました。
委員	先程、チーム学校の実現に向けた業務改善等の推進事業について報告いただきました。これは戸田市において多忙化対策の切り札になるのではないかと思いますので、更に詳しく教えてください。
事務局	承知いたしました。

委員	<p>小中一貫校の建設について、これから準備委員会やワーキンググループなど様々な取組が進んでいくかと思いますが、ぜひ進捗状況を適時に報告いただいて、情報共有をお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>承知いたしました。市議会で補正予算の議決をいただきましたら、設立準備委員会やワーキンググループを設置し、教育委員会はもとより、文教建設常任委員会の委員の皆様をはじめとする市議会、戸田東小・中学校、喜沢小学校の学校関係者、保護者、地域の皆様には丁寧に説明し、進めてまいりたいと考えております。</p>
委員	<p>今回の教員研修計画の報告や教育長の一般質問の答弁の報告を聞きますと、まだまだこれからICTには未来があると感じました。そこで、今後のICTの在り方、推進計画等について聞かせてください。</p> <p>また、学校現場で様々な改革が行われ、戸田市の教育が進んでいることについて、文教建設常任委員会の議員の皆様にもぜひ現場に足を運んで御覧になっていただきたいと思いますので、事務局から御案内いただくようお願いします。もちろん私も学校訪問に伺いたいと思います。</p>
事務局	<p>承知いたしました。文教建設常任委員会の議員の皆様には大変関心を持っていただいておりますので、議会事務局と相談のうえ、学校訪問等検討いたします。</p>
教育長	<p>それでは、「報告第2号及び報告第3号」を議題といたします。秘密会とすることに決定しておりますので、説明員で議案に関係する職員以外は退席願います。</p>
	<p>【関係者以外の退席を確認後、報告第2号及び報告第3号を報告し、閉会】</p>